

上空で見つけよう



□ツバメ【ツバメ科】

3月下旬頃に渡来する夏鳥。額と喉が赤褐色で腹部は白い。さえずりは「虫食って土食ってしぶい」と聞きなされる。



□イワツバメ【ツバメ科】

尾が短く腰の白いツバメ。3月上旬頃渡来。ツバメやヒメアマツバメと似るがお腹側と腰が白いことで判別する。



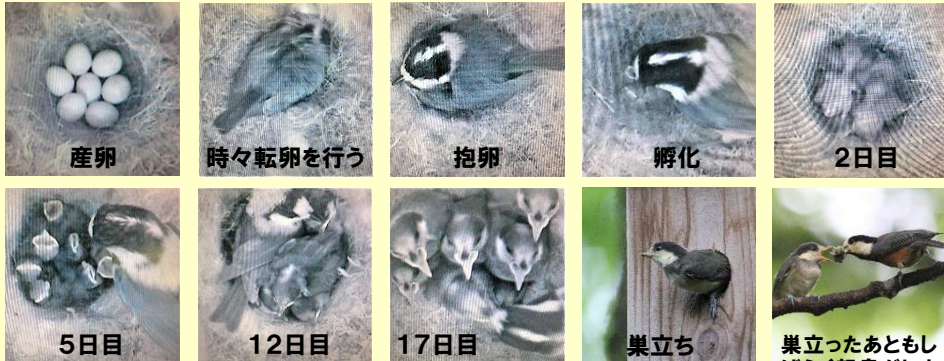
□トビ【タカ科】

カラスよりも大きい大型のタカ。翼を広げ上空を巡回している姿が見られる。飛びながらピーヒョロロと鳴く。

巣箱の鳥の子育てを観察しよう

くずの家では、毎年、家の前のエノキにカメラ付き巣箱を設置しています。葛葉緑地で巣箱を利用する鳥は、シジュウカラかヤマガラです。開館中はモニターで巣箱の中の様子をリアルタイムで観察することができますよ！

写真:2013年ヤマガラ



	ヤマガラ	シジュウカラ
卵の数	5~8個	7~11個
抱卵期間	12~14日	13~14日
育雛期間	12~17日	18~20日

★お願い
ヒナが落ちていても
拾わないでください！
親鳥が迎えにきます

かんさつガイドの見方

- ★：葛葉緑地で主に春夏によく見られる鳥
- ★：葛葉緑地で一年中見られる鳥
- ！：葛葉緑地でまれに見られる鳥
- ☑：観察できた鳥は、□にチェックをいれましょう

参考文献：「フィールドガイド日本の野鳥」日本野鳥の会、「日本産鳥類の卵と巣」まつやま書房、「自然ガイドとり」文一総合出版、他

編集・発行：秦野市くずの家 〒257-0031 秦野市曾屋 1137 TEL:0463-84-7874

発行日：2023年3月19日

写真協力：小泉俊江氏 福島雅彦氏 岡根武彦氏 くずの家・えのきの会野鳥分科会

*このリーフレットは公益財団法人 かながわトラストみどり財団の助成金を活用して作成されました。

くずはの広場・かんさつガイド⑧



春夏の野鳥



春から夏にかけて野鳥は繁殖シーズンを迎えます。さえずりに耳を傾けたり、子育てをする様子を観察しながら、バードウォッチングをお楽しみください。



メス

□キビタキ【ヒタキ科】

オスは黒い背に腰や胸の黄色が鮮やかな鳥。林の中ほどでさえずり、フライキャッチで飛んでいる虫を捕らえる。11月頃まで見られる。



□オオルリ【ヒタキ科】

オスは背中が美しい瑠璃色をしている。4月下旬から5月上旬、高い木の上で響かせるさえずりは日本三鳴鳥の一つに選ばれるほどの美声。

渡りの途中に立ち寄る鳥たち

春や秋、渡りの途中に葛葉緑地に立ち寄りしばらく滞在していく鳥たちがいます。そんな鳥たちに出会えると喜びもひとしおです。いつもと違った鳴き声や動きに注意しながら探してみましよう。



□エソビタキ【ヒタキ科】

春と秋に日本を通過する旅鳥。葛葉緑地では春には見られないが、9~10月によく見られる。胸に縦筋があるのが特徴。



□コサメビタキ【ヒタキ科】

全体的に灰色で白いアイリングのある小型の鳥。枝にとまって飛んでいる虫をフライキャッチする姿が見られる。



□センダイムシクイ【ムシクイ科】

明るいオリーブ色で頭の中央に淡い線があるムシクイ類。さえずりは「焼酎一杯グイー」と聞きなされる。



□クログミ【ヒタキ科】

5月頃にまれに見られることがある。



□ヒレンジャク【レンジャク科】

3月頃にまれに見られる。ヤドリギの実を好むが葛葉緑地ではキツタの実を食べる。

鳴き声を覚えよう

春夏は木の葉が生い茂り、鳥の姿を見ることは難しいですが、特徴的な鳴き声(さえずり)を覚えておくことで観察しやすくなります。表紙のキビタキも軽やかに色々な声でさえずっていますよ。自分で聞きなしを作ってみても楽しいですね。



□アオバト【ハト科】

「アーオー、アオーアー」と奇妙な声で鳴く緑色のハト。丹沢から大磯の海岸に海水を飲みに行く途中で立ち寄る。



□ホトギス【カッコウ科】

「特許許可局(とつきよきよかきよく)」と聞きなされる。ウグイスに托卵することで有名だが葛葉緑地での確認はない。



□ウグイス【ウグイス科】

お馴染み「法、法華経(ホーホケキョ)」で日本一有名なさえずり。ケキョケキョと続く「谷渡り」は警戒の声と言われている。



□アオバズク【フクロウ科】

夜間に「ホッホッ」と2声ずつ繰り返して鳴く。初夏に訪れ、大型の昆虫などを食べる。



□コジュケイ【キジ科】

「ちょっと来い」と聞きなされる大きな声が響き渡る。2羽で鳴きかわすこともある。帰化種。



□ガビチョウ【チメドリ科】

よく響く大きな声で鳴き続ける。キビタキやコジュケイなどの鳴き声も真似る。特定外来生物。

さえずり: 繁殖期に主に小鳥類のオスがそれぞれ特有の節とリズムで発する鳴き声。なわばり宣言とメスに対する求愛の呼びかけ、2つの機能がある。さえずり以外の声は「地鳴き」と呼ばれる。

聞きなし: 鳥の鳴き声を人間の言葉に置き換えて表現したもの。



木の花にあつまる鳥たち

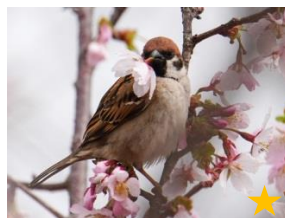
くずのはの広場のソメイヨシノが咲くと、花の蜜を目当てに鳥たちもやってきます。花に細長い嘴(くちばし)を突っ込んで蜜をなめるメジロとヒヨドリに対し、太く短い嘴のスズメは花を食いちぎって蜜をなめる「盗蜜」をします。



□メジロ【メジロ科】



□ヒヨドリ【ヒヨドリ科】



□スズメ【スズメ科】

大きさを覚えよう ~よく見られる鳥たち~

葛葉緑地でよく見られる4種の鳥の大きさを覚えておくと見分けるポイントになります。一年中よく見られる鳥たちを覚えましょう。



- ①メジロ
- ②エナガ
- ③ヤマガラ
- ④シジウカラ
- ⑤カワラヒワ
- ⑥コゲラ
- ⑦ムクドリ
- ⑧キジバト
- ⑨ハシボソガラス
- ⑩ハシブトガラス

※全長: 鳥を上向きに寝かせたときの嘴の先から尾の先までの長さ

川原で見つけよう

葛葉川では、夏羽になったセキレイ類3種が見られます。多数のひなを連れたカルガモのメスが見られることも。魚を捕って巣に持ち帰るカワセミの姿など、水辺の鳥たちの子育ての様子を観察してみましょう。



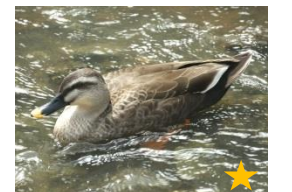
□キセキレイ【セキレイ科】



□セグロセキレイ【セキレイ科】



□ハクセキレイ【セキレイ科】



□カルガモ【カモ科】



□カワセミ【カワセミ科】



□イソヒヨドリ【ヒタキ科】
野鳥の土手の市街地側で見られる。オスは美しい声で長くさえずる。